

### <全体分析>

試験時間	150 分	解答問題数	5 題
------	-------	-------	-----

解答形式  
記述形式

#### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

#### 出題の特徴

典型的な問題が多いが、計算は煩雑なものが多い。

#### その他トピックス

昨年度に比べて数学Ⅲからの出題が減ったが、融合問題は増えた。

### <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	2次関数 図形と方程式	I II	円と放物線の位置関係 円上の動点と放物線上の動点間の距離	標準
[2]	数と式 2次関数 データの分析	I I II	データを用いて定義された関数の最小値	標準
[3]	整数	A	単位分数展開	やや難
[4]	図形の性質 平面ベクトル	A B	三角形とその内部に定めた点に関する線分比、面積比	標準
[5]	確率 数列・関数の極限 積分法	A III III	カードの取り出しに関する確率 区分求積法	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

### <学習対策>

典型的な問題を全分野にわたって繰り返し学習しておこう。

また、今年度は前期試験同様新型コロナウイルスの影響による学業の遅れに対する配慮か、数学Ⅲからの出題は少なかった。例年は数学Ⅲから複数題出題されているため、演習をしっかりとっておこう。